

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	ダイワ・アセアン 内需関連株ファンド	追加型投信／海外／株式
	ダイワ・アセアン内 需関連株ファンド・マ ネー・ポートフォリオ	追加型投信／国内／債券
信託期間	10年間（2012年2月17日～2022年2月16日）	
運用方針	ダイワ・アセアン 内需関連株ファンド	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
	ダイワ・アセアン内 需関連株ファンド・マ ネー・ポートフォリオ	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないま す。
主 要 投資対象	ダイワ・アセアン 内需関連株ファンド	イ. アセアン加盟国の金融商品取引所上場株式およ び店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を 含みます。） ロ. アセアン加盟国の企業のDR（預託証券）
	ダイワ・アセアン内 需関連株ファンド・マ ネー・ポートフォリオ	イ. ダイワ・マネーストック・マザーファンド（以下「マ ザーファンド」といいます。）の受益証券 ロ. 円建ての債券
運用方法	ダイワ・アセアン 内需関連株ファンド	①主として、アセアン加盟国の株式（DR（預託証券） を含みます。以下同じ。）の中から、アセアン経済圏 の内需拡大の恩恵を受けると考えられる企業の株式 に投資することにより、信託財産の成長をめざしま す。 ②ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で 行なうことを基本とします。 イ. 時価総額や流動性およびアセアン経済圏の内 需との関連性等を勘案して投資対象銘柄を選定 します。 ロ. 投資対象銘柄について、ボトムアップ・アプロ ーチに基づいて個別企業の分析を行ない、次の銘 柄を組入候補銘柄として選定します。 i. 高い利益成長が期待できる銘柄 ii. 収益力等に対して株価が割安と判断される 銘柄 ハ. 株価バリュエーション、銘柄分散等を勘案し、 ポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・ マネジメント（シンガポール）リミテッドに運用の 指図にかかる権限の一部を委託します。 ④株式の組入比率は、通常の状態でも高位に維持す ることを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原 則として行ないません。
	ダイワ・アセアン内 需関連株ファンド・マ ネー・ポートフォリオ	①マザーファンドの受益証券および円建ての債券を 中心に投資することにより、安定した収益の確保を めざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年 未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およ びコモディティ・ペーパーに投資することを基本とし ます。
組入制限	ダイワ・アセアン 内需関連株ファンド	・株式組入上限比率は無制限
	ダイワ・アセアン内 需関連株ファンド・マ ネー・ポートフォリオ	・マザーファンド組入上限比率は無制限 ・株式組入上限比率は純資産総額の10%以下
分配方針		分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。） 等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定し ます。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないこと があります。

※ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオは、ファミリー
ファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資
金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファ
ンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ・アセアン内需関連株ファンド
ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・
マネー・ポートフォリオ

運用報告書（全体版）
第12期

（決算日 2018年2月16日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申
し上げます。

さて、「ダイワ・アセアン内需関連株ファ
ンド」および「ダイワ・アセアン内需関連株
ファンド・マネー・ポートフォリオ」は、こ
のたび、第12期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げ
ます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、
お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/> <4819>

<4820>

ダイワ・アセアン内需関連株ファンド

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCI AC 東南アジア指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
8期末(2016年2月16日)	8,285	0	△ 12.1	13,274	△ 12.4	93.1	—	3.1	5,026
9期末(2016年8月16日)	8,665	0	4.6	13,660	2.9	95.2	—	1.6	4,675
10期末(2017年2月16日)	9,482	0	9.4	14,835	8.6	96.8	—	—	4,462
11期末(2017年8月16日)	9,876	0	4.2	16,056	8.2	93.4	—	2.6	4,327
12期末(2018年2月16日)	10,772	250	11.6	17,671	10.1	94.7	—	—	3,796

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCI AC 東南アジア指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCI AC 東南アジア指数(配当込み、米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCI AC 東南アジア指数(配当込み、米ドルベース)は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 期末の基準価額は分配金込みです。

■ 基準価額・騰落率

期首：9,876円

期末：10,772円 (分配金250円)

騰落率：11.6% (分配金込み)

■ 基準価額の主な変動要因

アセアンの内需関連企業の株式に投資した結果、為替相場においては通貨ごとに対円でまちまちの動きとなりましたが、世界的な株高に加え、良好な経済統計を受けて景気や企業業績への楽観的な見方が広まったことなどを背景にアセアン株式市況が上昇したことが主なプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・アセアン内需関連株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		MSCI AC 東南アジア指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率	投資信託 証券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %			
(期首)2017年8月16日	9,876	—	16,056	—	93.4	—	2.6
8月末	9,961	0.9	16,200	0.9	94.2	—	2.6
9月末	10,181	3.1	16,537	3.0	92.9	—	2.6
10月末	10,565	7.0	17,001	5.9	92.5	—	3.2
11月末	10,905	10.4	17,310	7.8	92.8	—	2.8
12月末	11,290	14.3	17,996	12.1	93.0	—	2.5
2018年1月末	11,369	15.1	18,435	14.8	94.1	—	—
(期末)2018年2月16日	11,022	11.6	17,671	10.1	94.7	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 8. 17 ~ 2018. 2. 16)

■アセアン株式市況

アセアン株式市況は上昇しました。

アセアン株式市況は、期首より、北朝鮮をめぐる地政学リスクの高まりを受けて上値の重い展開で始まりました。その後は、北朝鮮情勢の緊張緩和などを受けて投資家心理が改善する中、底堅い展開となりました。2017年9月下旬には、米国の金融政策の正常化による新興国からの資金流出懸念などを受けて下落しました。10月以降は、米国の税制改革への期待から世界的に株式市場が上昇する中、景況感の改善が好感されたタイや好調なマクロ動向や企業業績を背景に資金流入が続くベトナムを中心に堅調な展開となりました。その後も、良好な経済統計を受けて景気や企業業績への楽観的な見方が広まったことなどを背景に上昇基調となりました。2018年に入っても、世界的な株高や商品価格の上昇が好感されてエネルギー株や素材株を中心に堅調な展開となりました。その後は、米国金利の上昇や米国株の調整を受けて利益確定の売却が優勢となり下落しましたが、期末にかけては再び堅調に推移しました。

■為替相場

アセアン通貨は円に対してまちまちの動きとなりました。

期首より、アセアン通貨の対円為替相場は、米国の財務長官の通貨安容認発言などを受けて円高米ドル安が進行したことを主因に、インドネシア・ルピアやフィリピン・ペソが対円で下落しました。一方で、原油価格の上昇が好感されたマレーシア・リングgitや、経常収支の黒字基調に支えられたタイ・バーツは米ドルに対して上昇したため、対円で上昇しました。

前期における「今後の運用方針」

アセアン加盟国の株式の中から、アセアン経済圏の内需拡大の恩恵を受けると考えられる企業で、財務内容や株価水準などを勘案し、着実な利益成長が期待できる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、アセアン地域の広範な景気回復の恩恵が期待できる銀行を中心とした金融セクター、在庫調整一巡で業績回復が期待できる不動産セクターに加え、インフラ（社会基盤）投資増加の恩恵が期待できるインドネシアやタイのセメント関連銘柄を中心に素材セクターに注目しています。

ポートフォリオについて

(2017. 8. 17 ~ 2018. 2. 16)

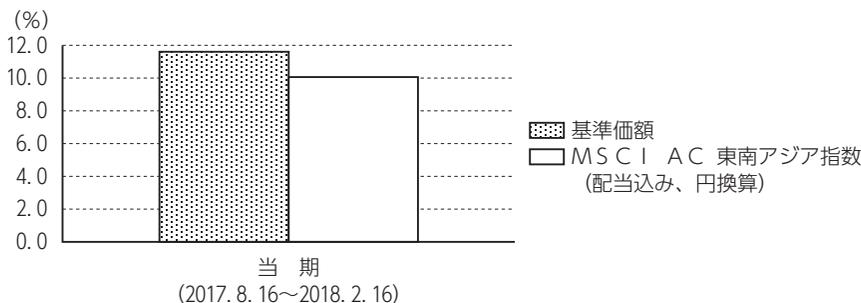
アセアンの内需関連企業の中から、財務内容や株価水準などを勘案し、中長期的に高い利益成長が期待された銘柄に分散投資を行ないました。業種では、広く景気回復の恩恵が期待された銀行を中心に金融セクター、個人消費の回復などを受けて企業業績の拡大が期待された一般消費財・サービスセクターなどを組入上位としました。

個別銘柄では、資産内容の改善やローン残高拡大などを受けて業績拡大が期待されたシンガポールの DBS GROUP HOLDINGS LTD (金融)、原油価格上昇の恩恵が期待されたタイの PTT PCL (エネルギー)などを組入上位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はアセアン市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は250円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■ 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2017年8月17日 ～2018年2月16日	
当期分配金（税込み）	（円）	250
対基準価額比率	（％）	2.27
当期の収益	（円）	69
当期の収益以外	（円）	180
翌期繰越分配対象額	（円）	772

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■ 収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	30.17円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	38.85
(c) 収益調整金	481.90
(d) 分配準備積立金	471.30
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	1,022.24
(f) 分配金	250.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	772.24

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

アセアン加盟国の株式の中から、アセアン経済圏の内需拡大の恩恵を受けると考えられる企業で、財務内容や株価水準などを勘案し、着実な利益成長が期待できる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、アセアン地域の広範な景気回復の恩恵が期待できる銀行を中心とした金融セクターのほか、個人消費の回復などを受けた企業業績の拡大が期待される銘柄を中心に一般消費財・サービスセクターに注目しています。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 8. 17~2018. 2. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	96円	0. 898%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10, 709円です。
(投 信 会 社)	(47)	(0. 436)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(47)	(0. 436)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0. 027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	56	0. 525	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(55)	(0. 516)	
(投 資 信 託 証 券)	(1)	(0. 009)	
有 価 証 券 取 引 税	16	0. 153	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(16)	(0. 152)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0. 001)	
そ の 他 費 用	11	0. 103	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(11)	(0. 100)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	180	1. 679	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は 1 万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

(1) 株式

(2017年8月17日から2018年2月16日まで)

	買付		売付		
	株数	金額	株数	金額	
外	シンガポール	百株 18,050 (—)	千シンガポール・ドル 5,522 (—)	百株 82,739	千シンガポール・ドル 7,163
	フィリピン	百株 106,405.45 (—)	千フィリピン・ペソ 212,578 (—)	百株 285,514.95	千フィリピン・ペソ 289,371
	インドネシア	百株 274,196 (—)	千インドネシア・ルピア 98,596,977 (—)	百株 269,701	千インドネシア・ルピア 79,342,770
	マレーシア	百株 7,543 253.72 (—)	千マレーシア・リンギット 1,690 148 (—)	百株 29,831.56	千マレーシア・リンギット 19,188
国	タイ	百株 199,233 (—)	千タイ・バーツ 316,129 (—)	百株 206,446	千タイ・バーツ 331,718
	ベトナム	百株 500 (—)	千ベトナム・ドン 3,415,069 (—)	百株 5,285	千ベトナム・ドン 54,397,758

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2017年8月17日から2018年2月16日まで)

	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
外国	千口	千シンガポール・ドル	千口	千シンガポール・ドル
	シンガポール	(132.8)	(181)	(932.8)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2017年8月17日から2018年2月16日まで)

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	6,689,597千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,850,509千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.73

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

株式

(2017年8月17日から2018年2月16日まで)

銘柄	当期			前期		
	株数	金額	平均単価	株数	金額	平均単価
PTT PCL/FOREIGN (タイ)	千株 120	千円 203,114	円 1,692	千株 890	千円 152,256	円 171
UNITED OVERSEAS BANK LTD (シンガポール)	90	191,685	2,129	550	148,820	270
CP ALL PCL-FOREIGN (タイ)	550	150,807	274	378.5	139,270	367
KEPPEL CORP LTD (シンガポール)	210	125,979	599	195	135,580	695
BANK MANDIRI PERSERO TBK PT (インドネシア)	2,000	125,505	62	750	131,443	175
UNITED TRACTORS TBK PT (インドネシア)	365	114,501	313	880	126,520	143
JASA MARGA (PERSERO) TBK PT (インドネシア)	1,980	100,051	50	150	124,896	832
TMB BANK PUBLIC CORP-FOREIGN (タイ)	11,000	90,805	8	510	122,499	240
ROBINSON PCL-FOREIGN (タイ)	400	85,446	213	9,779	116,656	11
HOME PRODUCT CENTER PCL-FOR (タイ)	2,250	85,396	37	11,000	109,488	9

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	柄	期首		当期		期末		業種等
		株数	株数	評価額				
				外貨建金額	邦貨換算金額			
		百株	百株	千シンガポール・ドル	千円			
(シンガポール)								
UNITED OVERSEAS BANK LTD		—	900	2,433	197,656	金融		
DBS GROUP HOLDINGS LTD		1,798.34	1,558.34	4,406	357,935	金融		
KEPPEL CORP LTD		—	2,100	1,667	135,426	資本財・サービス		
UOL GROUP LTD		2,802.08	852.08	710	57,717	不動産		
CITY DEVELOPMENTS LTD		1,550	950	1,208	98,146	不動産		
OVERSEA-CHINESE BANKING CORP		2,235.49	2,485.49	3,176	257,991	金融		
IPS SECUREX HOLDINGS LTD		24,000	—	—	—	情報技術		
JUMBO GROUP LTD		15,500	7,500	431	35,026	一般消費財・サービス		
HEALTH MANAGEMENT INTL LTD		8,948	—	—	—	ヘルスケア		
HRNETGROUP LTD		6,001	—	—	—	資本財・サービス		
ASPEN GROUP HOLDINGS LTD		20,000	—	—	—	不動産		
GENTING SINGAPORE PLC		—	7,300	905	73,520	一般消費財・サービス		
WILMAR INTERNATIONAL LTD		5,500	—	—	—	生活必需品		
シンガポール・ドル通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	88,334.91 10銘柄	23,645.91 8銘柄	14,939	1,213,420 <32.0%>			
		百株	百株	千フィリピン・ペソ	千円			
(フィリピン)								
AYALA LAND INC		12,500	4,500	20,070	40,942	不動産		
CENTURY PACIFIC FOOD INC		8,210.5	—	—	—	生活必需品		
SM PRIME HOLDINGS INC		—	7,500	27,075	55,233	不動産		
BANK OF THE PHILIPPINE ISLAN		—	2,082.8	24,993	50,986	金融		
MEGAWORLD CORP		97,790	—	—	—	不動産		
BDO UNIBANK INC		750	3,000	45,090	91,983	金融		
METRO PACIFIC INVESTMENTS CO		50,527	—	—	—	金融		
MEGAWIDE CONSTRUCTION CORP		19,291	—	—	—	資本財・サービス		
GT CAPITAL HOLDINGS INC		243.45	132.65	17,562	35,828	金融		
EAST WEST BANKING CORP		—	7,500	20,212	41,233	金融		
D&L INDUSTRIES INC		—	13,000	14,898	30,391	素材		
BLOOMBERRY RESORTS CORP		22,000	15,987	22,381	45,658	一般消費財・サービス		
WILCON DEPOT INC		47,500	23,500	25,474	51,966	一般消費財・サービス		
SHAKEY'S PIZZA ASIA VENTURES		3,490	5,990	9,955	20,308	一般消費財・サービス		
フィリピン・ペソ通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	262,301.95 10銘柄	83,192.45 10銘柄	227,713	464,534 <12.2%>			
		百株	百株	千インドネシア・ルピア	千円			
(インドネシア)								
INDOCEMENT TUNGGAL PRAKARSA		—	3,428	7,164,520	56,599	素材		
UNITED TRACTORS TBK PT		—	3,650	13,778,750	108,852	エネルギー		
ASTRA INTERNATIONAL TBK PT		6,250	—	—	—	一般消費財・サービス		
SEMEN INDONESIA PERSERO TBK		8,000	12,000	13,260,000	104,754	素材		
CIPUTRA DEVELOPMENT TBK PT		45,000	75,000	9,600,000	75,840	不動産		
TELEKOMUNIKASI INDONESIA PER		12,500	12,500	5,012,500	39,598	電気通信サービス		
RAMAYANA LESTARI SENTOSA PT		—	32,795	3,902,605	30,830	一般消費財・サービス		
BANK CENTRAL ASIA TBK PT		14,500	5,600	13,132,000	103,742	金融		
BANK MANDIRI PERSERO TBK PT		—	20,000	16,600,000	131,140	金融		
MITRA ADIPERKASA TBK PT		—	10,000	7,125,000	56,287	一般消費財・サービス		

銘柄	株数	当 株数	期 末		業 種 等	
			評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
BANK TABUNGAN NEGARA PERSERO	百株 33,682	百株 —	千インドネシア・ルピア —	千円 —	金融	
SURYA CITRA MEDIA PT TBK	—	18,000	4,932,000	38,962	一般消費財・サービス	
PP PERSERO TBK PT	17,500	—	—	—	資本財・サービス	
ERAJAYA SWASEMBADA TBK PT	—	65,000	6,012,500	47,498	情報技術	
NIPRESS PT	116,046	—	—	—	一般消費財・サービス	
インドネシア・ルピア通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	253,478 8銘柄	257,973 11銘柄	100,519,875	794,107 <20.9%>	
(マレーシア)	百株	百株	千マレーシア・リンギット	千円		
MALAYAN BANKING BHD	5,900	3,518	3,553	97,001	金融	
GENTING BHD	4,111	—	—	—	一般消費財・サービス	
SIME DARBY BERHAD	5,100	—	—	—	資本財・サービス	
HSS ENGINEERS BHD	—	3,543	690	18,861	資本財・サービス	
CIMB GROUP HOLDINGS BHD	7,500	—	—	—	金融	
MUHIBBAH ENGINEERING (M) BHD	—	4,000	1,212	33,087	資本財・サービス	
SP SETIA BHD	10,484.84	—	—	—	不動産	
マレーシア・リンギット通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	33,095.84 5銘柄	11,061 3銘柄	5,456	148,950 <3.9%>	
(タイ)	百株	百株	千タイ・バーツ	千円		
BANGKOK BANK PCL-FOREIGN REG	—	350	7,910	26,894	金融	
MUANGTHAI LEASING PCL-F	2,000	—	—	—	金融	
SIAM CEMENT PCL-NVDR	200	—	—	—	素材	
KASIKORN BANK PCL-NVDR	1,050	750	17,100	58,140	金融	
TISCO FINANCIAL GROUP-NVDR	3,683	—	—	—	金融	
COM7 PCL-F	—	5,000	8,250	28,050	一般消費財・サービス	
BANGKOK CHAIN HOSPITAL-FOREG	2,500	—	—	—	ヘルスケア	
MINOR INTERNATIONAL PCL-FOR	8,800	—	—	—	一般消費財・サービス	
SINO-THAI ENGR & CONST-FOR	8,800	—	—	—	資本財・サービス	
SRISAWADCORP PCL - FOREIGN	4,680	—	—	—	金融	
PTT PCL/FOREIGN	—	1,200	58,320	198,288	エネルギー	
CP ALL PCL-FOREIGN	—	5,500	44,137	150,067	生活必需品	
AIRPORTS OF THAILAND PCL-FOR	2,500	2,750	19,043	64,748	資本財・サービス	
CENTRAL PATTANA PCL-NVDR	5,616	2,816	23,443	79,706	不動産	
BANGKOK BANK PUBLIC CO-NVDR	—	1,250	25,750	87,550	金融	
LAND & HOUSES PUB - NVDR	—	12,000	13,080	44,472	不動産	
WORKPOINT ENTERTAINMENT-FOR	—	1,000	8,050	27,370	一般消費財・サービス	
タイ・バーツ通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	39,829 10銘柄	32,616 10銘柄	225,084	765,287 <20.2%>	
(ベトナム)	百株	百株	千ベトナム・ドン	千円		
VIETNAM NATIONAL PETROLEUM G	3,285	—	—	—	エネルギー	
VIETNAM DAIRY PRODUCTS JSC	2,844.3	1,344.3	26,012,205	122,257	生活必需品	
MOBILE WORLD INVESTMENT CORP	1,550	1,550	18,600,000	87,420	一般消費財・サービス	
ベトナム・ドン通貨計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	7,679.3 3銘柄	2,894.3 2銘柄	44,612,205	209,677 <5.5%>	
フ ァ ン ド 合 計	株数、金額 銘柄数 < 比率 >	684,719 46銘柄	411,382.66 44銘柄	—	3,595,977 <94.7%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘柄	期首	当期			期末
	口数	口数	評価額		額
	千口	千口	外貨建金額 千シンガポール・ドル	邦貨換算金額 千円	
(シンガポール) CAPITALAND COMMERCIAL TRUST	800	—	—	—	—
合計	800	—	—	—	—
銘柄数 < 比率 >	1 銘柄	—	—	—	<—>

■投資信託財産の構成

2018年2月16日現在

項目	当期末	
	評価額 千円	比率 %
株式	3,595,977	89.9
コール・ローン等、その他	403,067	10.1
投資信託財産総額	3,999,044	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、2月16日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=106.29円、1シンガポール・ドル=81.22円、1フィリピン・ペソ=2.04円、100インドネシア・ルピア=0.79円、1マレーシア・リンギット=27.30円、1タイ・バーツ=3.40円、100ベトナム・ドン=0.47円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(3,755,988千円)の投資信託財産総額(3,999,044千円)に対する比率は、93.9%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年2月16日現在

項目	当期末
(A) 資産	3,999,044,912円
コール・ローン等	334,864,448
株式(評価額)	3,595,977,715
未収入金	66,973,017
未収配当金	1,229,732
(B) 負債	202,260,288
未払金	70,345,360
未払収益分配金	88,115,015
未払解約金	6,467,692
未払信託報酬	37,219,524
その他未払費用	112,697
(C) 純資産総額(A-B)	3,796,784,624
元本	3,524,600,613
次期繰越損益金	272,184,011
(D) 受益権総口数	3,524,600,613口
1万口当り基準価額(C/D)	10,772円

*期首における元本額は4,381,483,074円、当期中における追加設定元本額は110,682,141円、同解約元本額は967,564,602円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,772円です。

■損益の状況

当期 自 2017年8月17日 至 2018年2月16日

項目	当期
(A) 配当等収益	11,747,726円
受取配当金	11,403,599
受取利息	363,028
支払利息	△ 18,901
(B) 有価証券売買損益	426,420,028
売買益	678,629,889
売買損	△ 252,209,861
(C) 信託報酬等	△ 41,473,217
(D) 当期損益金(A+B+C)	396,694,537
(E) 前期繰越損益金	△ 206,248,241
(F) 追加信託差損益金	169,852,730
(配当等相当額)	(109,031,486)
(売買損益相当額)	(60,821,244)
(G) 合計(D+E+F)	360,299,026
(H) 収益分配金	△ 88,115,015
次期繰越損益金(G+H)	272,184,011
追加信託差損益金	169,852,730
(配当等相当額)	(109,031,486)
(売買損益相当額)	(60,821,244)
分配準備積立金	102,331,281

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は12ページの「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

(注4) 投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用: 10,018,502円(未監査)

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	10,636,244円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	13,693,644
(c) 収益調整金	169,852,730
(d) 分配準備積立金	166,116,408
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	360,299,026
(f) 分配金	88,115,015
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	272,184,011
(h) 受益権総口数	3,524,600,613口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	250円

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、2月16日現在の基準価額（1万口当り10,772円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		公社債組入比率	純資産額
	税込み分配金	期中騰落率		
	円	円	%	百万円
8期末(2016年2月16日)	10,008	0	0.0	154
9期末(2016年8月16日)	10,006	0	△ 0.0	148
10期末(2017年2月16日)	10,003	0	△ 0.0	129
11期末(2017年8月16日)	9,999	0	△ 0.0	124
12期末(2018年2月16日)	9,996	0	△ 0.0	166

(注1) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

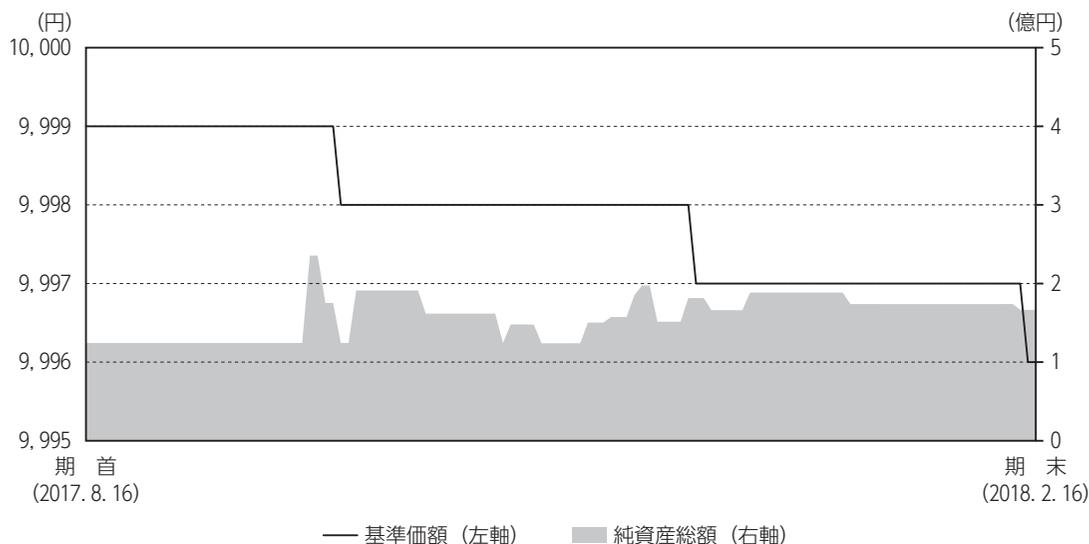
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、ダイワ・アセアン内需関連株ファンドの資金をスイッチングにより一時滞留させる受け皿としての役割をもったファンドであり、円建ての債券を中心に、安定運用を行いません。そのため、ベンチマークおよび参考指数はありません。



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期首：9,999円

期末：9,996円

騰落率：△0.0%

■ 基準価額の変動要因

「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の受益証券を通じて投資した短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ

年 月 日	基 準	価 額		公社債組入比率
		騰 落 率		
	円		%	%
(期首)2017年 8月16日	9,999	—	—	—
8月末	9,999	0.0	—	—
9月末	9,999	0.0	—	—
10月末	9,998	△ 0.0	—	—
11月末	9,998	△ 0.0	—	—
12月末	9,997	△ 0.0	—	—
2018年 1月末	9,997	△ 0.0	—	—
(期末)2018年 2月16日	9,996	△ 0.0	—	—

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

(2017. 8. 17 ~ 2018. 2. 16)

国内短期金融市況

期首より、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

前期における「今後の運用方針」

当ファンド

「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行なう方針です。そのため、マイナス利回りの短期の国債やコール・ローン等にも投資します。

ポートフォリオについて

(2017. 8. 17 ~ 2018. 2. 16)

当ファンド

「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないました。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローンによる運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2017年8月17日 ～2018年2月16日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	6

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の受益証券へ投資を行ないます。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行なう方針です。
 そのため、マイナス利回りの短期の国債やコール・ローン等にも投資する場合があります。

今後も現在の低金利環境が継続した場合は、ファンド全体の損益がマイナスとなり、基準価額が下落することが予想されます。投資家のみなさまにおかれましては、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2017. 8. 17~2018. 2. 16)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	—円	—%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,998円です。
(投 信 会 社)	(—)	(—)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(—)	(—)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(—)	(—)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.000	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	0	0.000	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年8月17日から2018年2月16日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネー ストック・ マザーファンド	229,580	230,298	200,167	200,793

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネースtock・ マザーファンド	86,767	116,181	116,181	116,517

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年2月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・マネースtock・ マザーファンド	116,517	67.0
コール・ローン等、その他	57,338	33.0
投資信託財産総額	173,856	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年2月16日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	173,856,805円
コール・ローン等	57,338,879
ダイワ・マネースtock・ マザーファンド (評価額)	116,517,926
(B) 負債	7,398,092
未払解約金	7,397,780
その他未払費用	312
(C) 純資産総額 (A - B)	166,458,713
元本	166,526,704
次期繰越損益金	△ 67,991
(D) 受益権総口数	166,526,704口
1万口当り基準価額 (C / D)	9,996円

* 期首における元本額は124,365,159円、当期中における追加設定元本額は327,859,327円、同解約元本額は285,697,782円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,996円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は67,991円です。

■損益の状況

当期 自 2017年8月17日 至 2018年2月16日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 9,003円
受取利息	6,383
支払利息	△ 15,386
(B) 有価証券売買損益	△ 27,579
売買益	5,947
売買損	△ 33,526
(C) 信託報酬等	△ 312
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 36,894
(E) 前期繰越損益金	△ 14,339
(F) 追加信託差損益金	△ 16,758
(配当等相当額)	(109,753)
(売買損益相当額)	(△ 126,511)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 67,991
次期繰越損益金 (G)	△ 67,991
追加信託差損益金	△ 16,758
(配当等相当額)	(109,753)
(売買損益相当額)	(△ 126,511)
分配準備積立金	2,115
繰越損益金	△ 53,348

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は20ページの「収益分配金の計算過程 (総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	109,753
(d) 分配準備積立金	2,115
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	111,868
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	111,868
(h) 受益権総口数	166,526,704口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ）が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2017年12月11日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2018年2月16日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を21ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄 公 社 債

(2017年8月17日から2018年2月16日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
707 国庫短期証券 2017/12/11	千円 130,001		千円

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

2018年2月16日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第8期 (決算日 2017年12月11日)

(計算期間 2016年12月10日～2017年12月11日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第8期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和投資信託

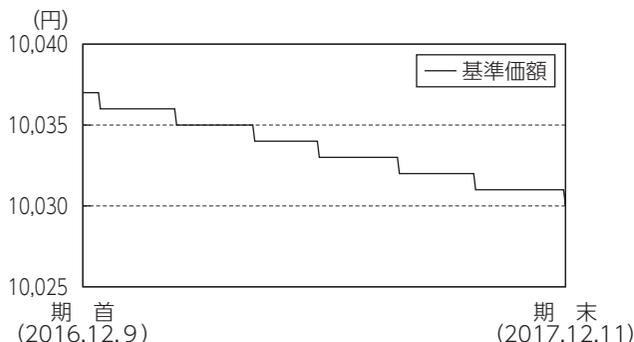
Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率	
	円	騰 落 率	組 入 比 率	%
(期首)2016年12月9日	10,037	-	-	29.1
12月末	10,036	△0.0	-	-
2017年1月末	10,036	△0.0	31.1	-
2月末	10,035	△0.0	25.2	-
3月末	10,035	△0.0	-	-
4月末	10,034	△0.0	35.6	-
5月末	10,034	△0.0	6.4	-
6月末	10,033	△0.0	0.6	-
7月末	10,033	△0.0	0.1	-
8月末	10,032	△0.0	-	-
9月末	10,032	△0.0	-	-
10月末	10,031	△0.1	-	-
11月末	10,031	△0.1	-	-
(期末)2017年12月11日	10,030	△0.1	-	-

- (注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,037円 期末：10,030円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境が継続したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期首より、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行ないません。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況 公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

国 内	国債証券	買 付 額	売 付 額
		千円	千円
		116,573,085	(128,940,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄 公 社 債

(2016年12月10日から2017年12月11日まで)

当 期			期		
買	付	額	売	付	額
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
645	国庫短期証券 2017/2/20	17,010,400			
657	国庫短期証券 2017/4/17	10,150,199			
652	国庫短期証券 2017/3/27	9,790,078			
642	国庫短期証券 2017/2/6	9,700,144			
659	国庫短期証券 2017/4/24	9,120,282			
651	国庫短期証券 2017/3/21	7,630,194			
669	国庫短期証券 2017/6/12	6,970,248			
644	国庫短期証券 2017/5/12	6,690,300			
638	国庫短期証券 2017/1/16	5,120,041			
660	国庫短期証券 2017/5/1	4,590,081			

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	30,906,278	100.0
投資信託財産総額	30,906,278	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	30,906,278,899円
コール・ローン等	30,906,278,899
(B) 負債	799,000,000
未払解約金	799,000,000
(C) 純資産総額(A - B)	30,107,278,899
元本	30,015,878,475
次期繰越損益金	91,400,424
(D) 受益権総口数	30,015,878,475口
1万口当り基準価額(C / D)	10,030円

* 期首における元本額は42,294,564,193円、当期中における追加設定元本額は17,178,092,718円、同解約元本額は29,456,778,436円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付債権ファンド (為替ヘッジあり) 3,021,993円、ダイワ米国担保付債権ファンド (為替ヘッジなし) 1,018,149円、ダイワ米国バンクローン・ファンド (為替ヘッジあり) 2014-07 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド (為替ヘッジあり) 2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド (為替ヘッジあり) 2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド - ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレアセット・インド株式ファンド-インドの匠-29,910,270円、新興国ソブリン・豪ドルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルリアルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、U.S 短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、U.S 短期高利回り社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 1,994円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス3,969,366,810円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインパース・インデックス5,902,244,309円、ダイワ上場投信-TOP I Xレバレッジ (2倍) 指数1,105,650,011円、ダイワ上場投信-TOP I Xダブルインパース (-2倍) 指数821,890,786円、ダイワ上場投信-TOP I Xインパース (-1倍) 指数5,071,127,230円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス383,378,807円、ダイワ上場投信-J P X日経400インパース・インデックス5,200,107,448円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインパース・インデックス205,174,656円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ・ブルベア・セレクト マネー・ポートフォリオ28,215,782円、ダイワ・ブルベア・セレクト ドル高円安ポートフォリオ104,220,911円、ダイワ・ブルベア・セレクト 円高ドル安ポートフォリオ49,706,154円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネー

ポートフォリオ - S Lトレード-641,089,307円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の権音 (つちおと) -5,020,480円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ206,680,116円、ダイワ・アセア内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ126,940,913円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株ファンドII 豪ドル・コース (毎月分配型) 4,184,518円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII プラジル・リアル・コース (毎月分配型) 12,952,078円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 4,981,569円、ダイワU.S 短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレアセット・垂直垂直株式ファンド 9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり 49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし 49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 米ドル・コース4,980,080円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) プラジル・リアル・コース12,948,208円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース3,685,259円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジあり) 2,088,438円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジなし) 1,012,911円、ダイワ/ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- プラジル・リアル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース499,994円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 プラジル・リアル・コース1,496,804円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース9,976,045円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース2,001,563円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,030円です。

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

■損益の状況

当期 自2016年12月10日 至2017年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 21,002,641円
受取利息	△ 3,317,956
支払利息	△ 17,684,685
(B) 有価証券売買損益	△ 4,086
売買損	△ 4,086
(C) その他費用	△ 329,559
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 21,336,286
(E) 前期繰越損益金	155,223,882
(F) 解約差損益金	△ 99,854,368
(G) 追加信託差損益金	57,367,196
(H) 合計(D + E + F + G)	91,400,424
次期繰越損益金(H)	91,400,424

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。